

新そばを楽しむ会



指導者に見守られへそ出しに成形する参加者ら

13年間のきずな あたためる

臥龍そばの会（4人）、あじびかり蕎麦の会（3人）のそば打ち指導により11月4日（土）、きさらハウスで新そばを楽しむ会があり、35人が参加しました。最初に臥龍そばの会の井谷隆名人が「2005年に前理事長の志賀さんからラブレターをいただき、それから数えて13年間参加している。皆さんと美味し

さんしょうの会

2017年11月25日 発行
特定非営利活動法人 さんしょうの会
電話 0577-321-8709
ホームページ「さんしょうの会」で検索



参加者らに広がる平らに使う麺棒

そばです。今年は大候が優れず、例年の半分以下の収穫だったそうです。貴重なそば粉を持ってきてもらいました。今回は、一八そばを打ちました。適量のそば粉と小麦粉を水で混ぜ、素早く手回し。しっかりと捏ねてへそ出し成形に整えます。丸く手で広げながら、麺棒で角だし均等に広げていき伸ばしました。そばは切り包丁で均等な幅になるように切りました。

「ういも菜ごぼろ」

ゆめ匠からの参加者は「初めて参加しました。とても楽しいです」と語りました。指導者の方は「半つきがいいですね」と驚かしていました。打ち立てのそばを雑穀と合わせてい

達人の打ったそばは格別

いただきました。何杯もお代りする人もいました。



そばを食べる鉄矢さん

最後に、参加者を代表して荒川鉄矢さんが「ここまで上手に打てて嬉しかったです。2杯は大盛りでお腹いっぱいいただきました。そばの達人の打った蕎麦は美味しかったです」とお礼を述べました。そば打ちの指導者の方々は、保護者の方が作ったバナナケーキをプレゼントしました。指導者の方々一人一人が挨拶し「皆さんのあたたかい雰囲気の中で、楽しくそばを打つことができました。来年もぜひお邪魔させていただきます」と語りました。



参加者らに見守られそばを切る井谷名人（右端）ら

*** お知らせ ***

- ◎ 12/9 (土) 午前9時~12時、拡大理事会 於) 第2きらら
- ◎ 11/26(日) あんきなコンサート、国府さくらホール
- ◎ 11/30(木) 短期入所事業・県との事前協議、県庁
- ◎ 12/11(月) ロータリークラブへパン販売と短期入所事業等のPR活動
- ◎ 2018年1/13(土) 新成人を祝う会、三福寺町公民館、フルーツバスケットとの共催
- <生活介護営業日>
12月2日 16日 1月13日 27日 いずれも (土)

きららの家 (短期入所事業)

【設立委員会の報告】
①細江工務店さんと理事会との協議が行われました。来年3月までは現行の契約を継続。4月以降、新たに契約を結ぶ（3年間、月々の総支払額は現行通り）。
②クラウドファンディング開設に必要なためひだ信への法人会員登録入。
③「きららの家」建設完了は2018年1月末の予定。

三事業所交流会に33人



盛り上がったカラオケ

10月14日、お宿田で行われた三事業所交流会には今年も職員含め33人の利用者や保護者が参加しました(集合写真左)。

各事業所アピール

皆、おいしい料理で舌鼓を打っている中、各事業所のアピールタイムコーナーが始まり、ゆめ匠パン工房の皆さんは普段作業をしていて気が付いたことや面白かった事を発表しました。第2きららでは、音楽の会で歌っている「幸せなら手を叩こう」を披露し、会場と一体になりました。きららハウスではオリジナルのきららの歌や曲気100%を歌いました。

10月に行われた秋のバザー、お疲れ様でした。天候が優れない中、キャバ切りから出店活動まで、山の協力ありがとうございました。きらら紅梅軒(11月22日)田(1)焼味山(2)40食、座布団他。学生協でした。出店したバザーは次の通り「虹のフェア」26日、ゆめ匠パン、東子、シフォンケーキ。



秋のバザー活動おつかわりでした



そして最も盛り上がったのはカラオケコーナーで、歌いたい人たちが順番に好きな歌を歌いました(写真上)。

体を揺らしたい、手拍子、合の手を入れたり、時には会場を盛り上げて楽しんでいました。

ペンゴ大会では、チームで知恵を出し合ってお題の動物を24個マスに埋め、指定された動物があるかどうかに一瞥しました。ペンゴしたチームから罰品を取りに行き、罰品の入った袋を開ける楽しそうな顔が印象的でした。

今回、初参加のゆめ匠パン工房の田中歩美さんは、「とても楽しかったです。また来年も参加したい」と語りました。

仲間たちと一緒に楽しい思い出を共有し、最後はみんなで一緒に写真を撮り、今年度の交流会も大成功に終わりました。



10月26日グリーンホテルにて、保護者10人で交流ランチ会を行いました。来春から始まる『きららの家』をはじめ、様々なサービスや支援の情報交換などで、美味しく賑やかにテーブルを囲みました。次回は5月位を予定しています。沢山の参加をお待ちしています。

麺の日に高山製麺組合からプレゼント

全国製麺共同組合連合会が定める「めんの日」11日、県製麺共同組合飛騨支部は、高山市社協を通じて市内の障がい者や高齢者など19の福祉施設に、中華そば、焼きそば、うどんの麺を計600食を贈りました。

さんしょうの会からは第2きららの利用者と職員が参加。総合福祉センターで開かれた配布式の模様は、岐阜新聞、市民時報、中日新聞でカラー写真付きで報道されました。

家族の方は、「いい顔で写っていて良かった」と、とても嬉しそうに話していました。